

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/16号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ドル高にゴールド1800ドルまで下落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドは先週はほぼ4%下げて終わり、これは昨年6月の半ば以来の最悪の週となりました。金曜日には1800ドルちょうどまで下げました。下値抵抗線と見られていた1830ドルを下にブレイクしたことで、短期筋がショートで攻めているという面もあるようです。水曜日に発表されたCPIは8.3%と市場予想の8.1%を上回り、インフレもピークアウトかという見方を吹き飛ばす数字となり、FRBはそのタカ派的傾向を緩めないという認識をマーケットに与え、インフレは近い内に短い時間でどこかに行ってしまうものではないということも改めてマーケットに織り込まれました。そのため今後のさらなる金利上げは確実であり、株価は大きく売り込まれ、株価とともに暗号資産そして貴金属も最高の「流動性」つまり、キャッシュへと交換させられています。結果としてドルインデックスは20年ぶりの高さへと上昇しており、これもまたゴールドが売られる直接的な原因になっています。1800ドルがブレイクされることがあればさらなる売りが出てくる可能性があります。RSI（相対力指数）は30を割り込んでおり、これは明らかに売られ過ぎのレベル、さらなる下値があるとしてもそれはごく短期的であり、それ以上下げないレベル、あっても1875ドルくらいで、一度底値を確認すると戻りのスピードはきっと速いと思います。長期金利は3%で頭を打ってから急速に戻りました。つまり、長期国債はゴールドよりも一足先に買いが入っており、同じ安全資産としては、なぜゴールドが買われていないのか、個人的にはそれが不思議です。ドルインデックスの上昇がどこまで続くのか、それが短期的にはゴールドの下値を決めるのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-シルバー 6

「シルバーの需要」

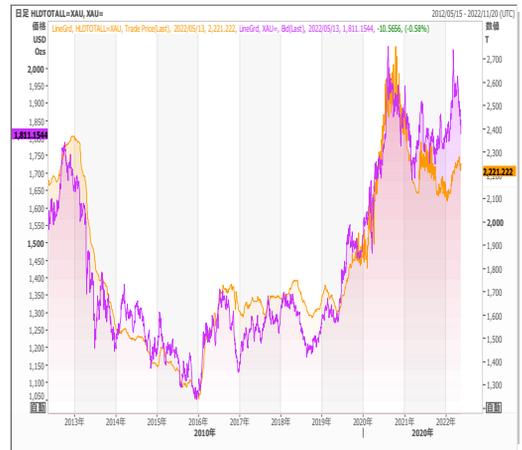
シルバーの需給表です。最大のもは工業用需要で16299トン。そのうち3267トンが近年最も伸びている太陽光発電です。工業用需要の次に大きいのが投資分野の7862トン、そして5734トンの宝飾品、1340トンの銀器です。シルバーの需要のうち約半分が工業用の需要であり、残りの半分の現物投資需要と宝飾品そして銀器需要は、幅広い意味でのシルバーをそのままの形でつかう「シルバー投資」と考えてよいでしょう。この基準で考えるとゴールドではその需要の9割が投資、工業用需要は1割であり、シルバーが「工業用メタル」であることがわかってきます。

Appendix 1 - Silver Supply and Demand

Tons	Year on Year											
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021F	2020	2021F
Supply												
Mine Production	24,755	26,293	27,429	27,881	27,975	26,839	26,387	25,916	24,399	26,392	-6%	8%
Recycling	6,718	5,995	5,444	5,180	5,116	5,218	5,304	5,665	6,103	311	7%	8%
Net Hedging Supply	-	-	337	67	-	-	434	764	311	-39%	18%	
Net Official Sector Sales	114	52	36	33	33	33	37	32	37	48	18%	27%
Total Supply	31,586	32,340	33,240	33,161	33,124	32,089	31,643	31,685	30,365	32,854	-4%	8%
Demand												
Industrial	14,013	14,331	13,997	14,214	15,287	16,134	15,968	16,007	15,142	16,299	-5%	8%
...of which photovoltaics	1,711	1,571	1,507	1,684	2,915	3,166	2,877	3,069	3,142	3,267	2%	4%
Photography	1,634	1,424	1,355	1,282	1,174	1,092	1,051	1,018	859	895	-16%	4%
Jewelry	4,946	5,812	5,998	6,272	5,859	6,074	6,283	6,229	4,622	5,734	-26%	24%
Silverware	1,266	1,447	1,666	1,802	1,677	1,853	2,101	1,931	1,014	1,340	-48%	32%
Net Physical Investment	7,525	9,391	8,853	9,723	6,645	4,858	5,152	5,776	6,236	7,862	8%	26%
Net Hedging Demand	1,255	913	-	-	374	35	230	-	-	-	na	na
Total Demand	30,639	33,318	31,869	33,293	31,016	30,046	30,785	30,960	27,872	32,130	-10%	15%
Market Balance	947	-978	1,371	-132	2,108	2,044	858	725	2,493	724	244%	-71%
Change in ETP Holdings	1,668	148	-9	-532	1,676	223	-666	2,590	10,299	4,666	298%	-55%
Market Balance less ETPs	-720	-1,126	1,379	400	432	1,821	1,523	-1,865	-7,806	-3,941	319%	-50%
Silver Price (US\$/oz)*	31.15	23.79	19.08	15.68	17.14	17.05	15.71	16.21	20.55	27.30	27%	33%

*London Price

Source: Metals Focus



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

